

北海道生物多様性保全ダイアログ

EPO北海道では、北海道の北海道生物多様性保全計画の改定（2023年度）に向けて、主要な論点を専門家とともに学び、意見交換をしています。

モデレーター（対話セッション進行）

○吉中 厚裕氏

（酪農学園大学農食環境学群環境共生学類 教授）

○長谷川 理氏

（特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所、
EPO北海道運営協議会委員）



本事業のアーカイブ・資料は
左のQRコードからご覧ください

主催：EPO北海道、北海道、北海道生物多様性保全活動連携支援センター（HoBiCC）

生物多様性をめぐる現状とこれから

生物多様性保全に関わる政策のこれまでの経緯や、近年の国際的な議論等

〔日時〕 2021年12月21日 16:00-18:00 [参加者] 78人

〔ゲスト〕 渡辺 綱男氏（一般財団法人 自然環境研究センター 上級研究員）



環境保全はなぜ難しいのか

環境保全を行ううえで、なぜ対立は起こるのか、合意形成の考え方や方法について

〔日時〕 2022年2月16日 16:00-17:30 [参加者] 99人

〔ゲスト〕 宮内 泰介氏（北海道大学大学院文学研究院 教授）



災いを恵みに変えて-自然豊かで安全・安心な地域づくり

北海道でも進みつつある自然の力を活用した防災・社会資本整備の考え方や事例について

〔日時〕 2022年6月22日 15:00-17:00 [参加者] 52人

〔ゲスト〕 中村 太士氏（北海道大学大学院農学研究院教授）



OECM-新しい自然保護区の可能性と課題

法制度に基づく保護区以外の自然環境保全の新たな仕組み「OECM」の可能性と美幌町での取り組みの事例等

〔日時〕 2022年8月18日 18:00-20:00 [参加者] 116人

〔ゲスト〕 三橋 弘宗氏（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）

町田 善康氏（美幌博物館学芸担当主査）



生物多様性と農業・土地利用-食料生産との両立に向けて-

北海道の農業と生物多様性保全のかかわりや、河畔林・防風林の農業にもたらすメリット等

[日時] 2022年10月26日 18:00-20:00 [参加者] 89人

[ゲスト] 赤坂 卓美氏(帯広畜産大学 助教)

関 健志氏(公益財団法人日本生態系協会専務理事)



再生可能エネルギーと生物多様性保全の両立

風力・太陽光等再生可能エネルギー開発による動植物への影響、釧路湿原におけるキタサンショウウオ生息地保全の取り組み等

[日時] 2022年12月16日 16:00-18:00 [参加者] 172人

[ゲスト] 風間 健太郎氏(早稲田大学人間科学部野生動物生態学研究室)

野本 和宏氏(釧路市立博物館 学芸員)



共催事業 日本湿地学会 第14回(2022年度)釧路大会特別セッション

[日時] 2022年9月3日 釧路市開催 [参加者] 100人程度(学会参加者)

[テーマ] 北海道の湿地をどう守る?~北海道生物多様性保全計画への期待~

[主催] 日本湿地学会(第14回大会実行委員会)

[共催] EPO北海道、HoBiCC、北海道、北海道湿地コンソーシアム



参加者・登壇者の声

全6回合計

606人 の参加(のべ人数)

247件 のアンケート回答数

- ・ローカルな地域戦略だからこそみんなが使える計画を!
- ・OECMsやNbSに「沿った」計画でなく、「利用した」計画を!
- ・河川・湖沼について…
生物多様性に関して水産部局、河川部局との連携、情報共有強化を

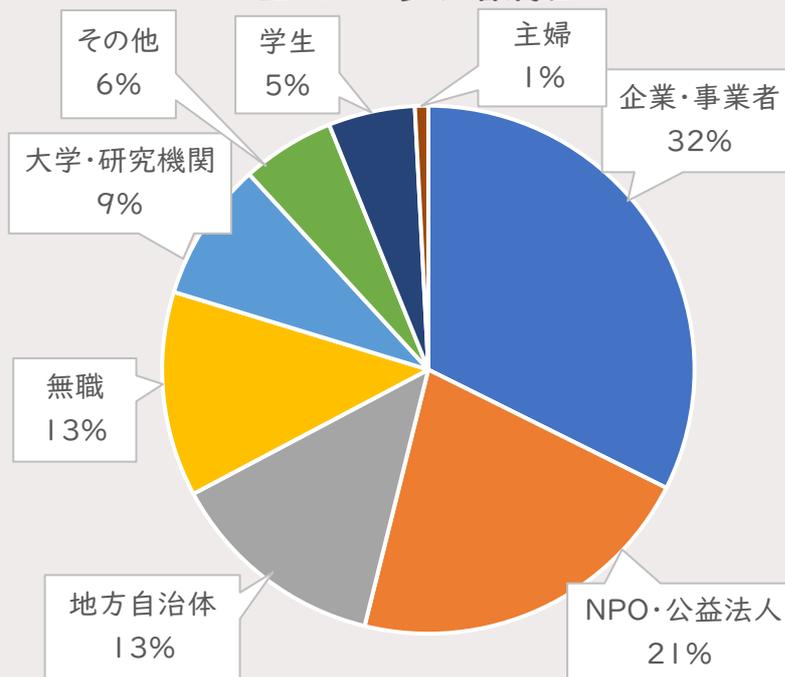


2023年度もオンラインダイアログや対面ワークショップ等を開催予定です。
EPO北海道のメールマガジン等でご案内しますので、ご希望の方はご登録ください。



EPO北海道
webサイト

全6回の参加者属性



N=247 ※重複あり

その他: 自然ガイド、通訳案内士、ボランティア、博物館学芸員、自営業、パートタイマー、記者、環境調査員・任意団体、会社員

環境省北海道環境パートナーシップオフィス (EPO北海道)

URL: <https://epohok.jp/>

北海道地方ESD活動支援センター

URL: <https://hokkaido.esdcenter.jp/>

札幌市中央区大通西5丁目11番 大五ビル7階

TEL: 011-596-0921

MAIL: epoh-webadmin@epohok.jp

